

NIKKEN

同窓会通信

2020
秋号



特集

- ・インタビューレポート
- ・ニッケンの感染対策
- ・新コース(2021)



日本健康医療専門学校



さんべ鍼灸整骨院
院長 三瓶 純一
柔道整復学科2008年卒業
鍼灸学科2014年卒業



with コロナの時代に向けて 治療家としてできることを模索した

柔道家にして治療家の師にあこがれて、 治療家を目指す

私は中学生の頃からずっと、今も柔道をやっています。
私の青春時代は、柔道一色でした。柔道にのめり込めばのめり込むほど、ケガの頻度も増します。指を骨折した状態で、試合に出場したこともありました。(若いって、ほんとに怖ろしいですね)
中学2年の時、鎖骨を骨折し、生まれて初めて整骨院に行きました。そこで出会ったのが、柔道家にして治療家の院長先生。柔道家がほねつぎ(柔道整復師)を兼ねるというのは、昔よくみられました。でもその院長先生は当時まだ25、6歳。若者だったはずなのに、妙に頑固で渋い人でした。治療の腕もたしかで、骨折もかなり早く治してくれたのです。私は、

すっかりその先生にあこがれてしまって「将来は治療家になる!」と決めました。

私にとって高校は、勉強ではなく柔道をする場所でした。柔道着と弁当、シャープペンを入れた鞆を持って登校し、部活の練習に励んでいました(笑)。
そんな状態だったので、ニッケンの柔道整復学科に入学してからは大変です。「勉強の習慣」というものがまったく身につけていません。まずは机の前にじっと座って、集中して授業を受ける—そこからスタートしました。

ニッケンの先生方は、それぞれの専門分野の治療現場で活躍されている人ばかり。でも、教育者としてもすばらしく、私のような学生にも、て

いねいに分かるまで教えてくれました。当時のことを思い出すと、先生方には足を向けて寝られません。
それだけに、無事に国家試験に合格できた時は胸をなでおろしました。ニッケンの先生方と友だちのサポートのおかげだと感謝しています。

卒業後は、大手整骨院グループに就職。最初にお世話になった治療院の院長先生が、鍼灸師でした。間近で先生の治療を見たり、患者さんの予後を見ていると、鍼灸にすごく興味が湧いてきました。
そこで、学費を貯めて、ある程度臨床経験を積んだら、鍼灸師の資格取得のために学校に通おうと決めました。
2011年、今度はニッケンの鍼灸学科に入学。同じグループの整骨院で副院長をしながら、学校に通いました。仕事と学業の両立は正直、厳しかったのですが、なんとか頑張って3年後には、無事はり師・きゅう師の資格を取得することができました。

ついに独立開業! オープン前から苦労とストレスが

鍼灸学科卒業後は、W資格保持者ということで、院長に昇格。院を経営・運営する重責を担うことになりました。もともと開業の意志はあったので、そのための予行練習と思って、学びながら試行錯誤を繰り返していました。
そして2017年、千葉県鎌ヶ谷市に「さんべ鍼灸整骨院」を開業しました。開業に至るまでは、経験したことのない苦労の連続でした。治療院を開設するということは、ものすごくたくさんの業種の人々に関わることになります。金融機関、不動産屋さん、内装屋さん、Web製作会社…。会社を選んで、お願いするところから始まります。融資の相談に行くなんて初めてのことから、ものすごく緊張して、書類の準備に追われました。それらと並行して、物件探し、内装の打ち合わせも行います。どれかが遅れると他の作業も遅れる。その調整が難しく、ストレスがたまりました。

なんとかすべてをやり終えて、ようやく整骨院がオープン!
ところが…思ったようには患者さんは来ません。甘いものではありませんでした。
ニッケンで学んだ知識と技術、私なりの経営戦略。この二つを強みとしてスタートしたのですが、そこに新しい取り組みもプラスする必要があると痛感。そこで、私の苦手なIT…SNSによる情報発信を始めることにしました。

Facebook、Instagram、そしてLINE。ITに強い友人に教わりながら、毎日コツコツと投稿していきました。また整骨院のサイトにはブログも投稿。それを見てくれた近隣の患者さんが徐々に来院されるようになり、経営も安定してきました。

柔整と鍼灸をいかした治療が強み

「さんべ鍼灸整骨院」の特徴は、西洋医学×東洋医学の融合による治療です。原因をしっかりと理解することが改善の早道と考え、カウンセリングに力を入れています。
そこから、電気療法などの西洋医学的アプローチと、東洋医学(鍼灸)のアプローチを組み合わせ、その患者さんにとって最適な治療法を計画します。

柔道整復師とはり師・きゅう師の資格があるからこそ、このような治療が可能になったのだと思います。そういった姿勢が患者さんにも伝わるのか、最近では、神経痛や自律神経の乱れによる不調を訴える患者さんも増えています。若い層はケガ、中高年層は神経痛や自律神経系の患者さんが多く、あまり高齢者の方はいらないと思います。



左はスタッフの守西由華さん(柔道整復学科2017年卒業、鍼灸学科2020年卒業)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、3月～5月ぐらいまではありました。しかし、緊急事態宣言が解除されてから、徐々に患者さんが来院されるように。当院は、以前から栄養学にもとづく食事や運動など生活指導に力を入れてきたので、コロナ禍によって生活スタイルが変わったことに対して、アドバイスを求める患者さんも増えてきました。
急に生活が変わって自律神経系が乱れたり、運動不足で体調が崩れたり…それぞれのお悩みに対して、お答えしています。また、ジムに行けなくなった患者さんには、自宅でする筋トレも紹介しています。
これらの対応には、調べたり資料を集めたりと手間がかかります。でも、今皆さんが何に困っているかがよくわかるので、多くの人とシェアした方がいいと思われるテーマについては、当院のサイトでブログとして紹介しています。そういったブログによる情報発信の効果もあるのか、新型コロナ以前よりも今の方が患者さんは増えています。

治療家に必要なものは知識と技術、 そして謙虚な心

私が15歳の時に描いた「治療家になる」という夢は達成できました。
さらに今、やりたいことはたくさんあります。整骨院を大きくしたいとも思うし、まったくちがうコンセプトの治療院もやってみたい。たとえば、運動分野にフォーカスし、トレーニングをメインにすることにも興味があります。
「さんべ鍼灸整骨院」は、今の路線でやっていきます。新型コロナウイルスも今後どうなるかわかりませんが、変化に柔軟に対応しつつ、軸をぶらさずにやっていく予定です。

新型コロナウイルスは、ニッケンの在校生の皆さんにも影響を及ぼしていると思います。思うように勉強ができなかったり、情熱を失いかけている人もいるのではないのでしょうか。
私自身が勉強を好きな学生ではなかったので、成績が伸び悩んでいる学生さんのことが気になります。「ピンチをチャンスに変えろ!」なんて、簡単に言うつもりはありません。

でも、こんな時だからこそ、自分がなんのために勉強しているのか、将来自分はどんなことを目指しているのか、もう一度考えてほしい。そのことによって、現実には立ちがだかる壁を乗り越えて、クラスメイトや先生を驚かせてほしいです。
治療家に必要なのは、知識と技術。そして、謙虚な心です。患者さんを診てあげるんじゃない、患者さんを診させていただくのです。その初心を忘れずに、日々研鑽を積み、今描いている夢を叶えることができると思います。がんばってください!

特集2 ニッケンの感染対策 ～対面授業との両立～

2020年春、世界中へ急速に拡散した新型コロナウイルス感染症は、教育の現場にも大きな影響を与えました。学生の安全を最優先に考え、その上で学習の遅れを最小限にしなければなりません。大変難しい選択を迫られた中で、本校では5月よりオンライン授業を開始し、6月から徐々に対面授業を再開していきました。現在でも第2波、第3派の感染拡大に対する懸念が消えない中で、徹底した感染防止策を施した上でできる限りの対面授業を実施しています。

●水際対策でウイルスを校内に持ち込まない。



校舎へ入るときは、学生、教職員、卒業生、外部業者は正面玄関から入って頂きます。靴底消毒液を踏み、手指消毒を行い、最後はAIによる検温を行います。卒業生の方も来校された際は感染予防にご協力をお願い致します。

●サテライト授業により教室内の密を防止しています。



各教室の人数上限が15名である為、ビデオカメラで神社側の教室の授業を撮影し、ビデオカメラから30mのHDMIケーブルで反対側の教室のテレビモニターに接続し授業を生中継して実施しています。全学年が登校すると教室が不足する為、分散登校により指定された曜日に各学年が登校してきます。登校できない学年は授業動画を配信し受講しています。

●感染対策を徹底しても実習授業の『質』は落とさない。



実習室のベッド数を減らし、ベッドの間隔を広くとるようにしました。手指消毒はもちろん、ベッドや枕などの消毒も徹底しています。座学の授業と同じく、1クラスを2教室に分けて実施しています。テレビモニター側では伝わりにくい内容は、先生が7階から8階へ行って直接デモを見せています。

●柔道の授業は熱中症対策もしなくてはなりません。



コロナ禍での柔道授業は30人クラスを2グループに分け、15人ずつ45分の授業となっています。マスク着用で行われる柔道は息苦しく、熱中症にも注意をしなければなりません。現在の課題は打ち込みや組手練習ができないことによる授業の遅れをどう取り戻していくかです…。

新入生インタビュー



モチベーションを維持して 国家試験合格を目指してがんばります！

江連提悟さん 船橋市立船橋高等学校卒業
(柔道整復学科1年)

私は中学時代からずっと柔道部に所属していて、整骨院の仕事に興味を持っていました。

高校時代、亀裂骨折や膝痛などでお世話になった整骨院の先生がとても印象的で「人の痛みやケガを治す仕事をしてみたい」と思い、ニッケンを受験しました。

2020年4月、ニッケンに入学したものの、新型コロナウイルスの影響で、4月、5月は自宅学習に。気持ちを切り替えて、家でテキストを見ながら予習をしていました。引越しのアルバイトと自習で2か月が過ぎていきました。

6月からはようやく学校がスタート。週に2回分散登校することになりました。最初のうちは、少し混みあっている電車での通学に緊張しました。校内はソーシャルディスタンスが徹底され、半分しか学生がいない教室はちょっとさびしく感じました。

登校日以外は、自宅でのリモート学習です。先生の講義を動画視聴して勉強していました。先生方は各分野のスペシャリストとして活躍されているので、経験も豊富で授業も大変面白いです。分からない部分があったら、動画なので見直すことができ便利でした。動画の講義についての疑問は、先生に登校日やLINEで質問すると、ていねいに教えていただきました。ニッケンの友だちとも、登校日以外はLINEで連絡を取り合って、勉強で分からないところを教え合ったりしています。

4月5月の遅れを取り戻すために、最近は学習内容や科目が増えてきました。10月からは、週4日登校し、実技の授業も始まります。

また、2週間前から、整骨院でのアルバイトも始まりました。先生方の治療を見ていると、分からないことばかりですがとても勉強になります。まだ患者さんとコミュニケーションをとるのが難しく、日々気を引き締めて臨んでいます。

目標は、まずは国家試験に合格すること。それまではモチベーションを維持して勉強に集中します。卒業後は、整骨院で働きながら、プロのトレーナーとして高校の部活などでアスリートを支えていきたいと思っています。



女性に特化した鍼灸院で 患者さんに寄り添う治療家に

田村みこさん 神田女学園高等学校卒業
(鍼灸学科1年)

私は、小学校5年生からずっとスポーツをやっていたので、整骨院は馴染のある場所でした。

特に中高ではソフトボール部に所属し、ケガがなくても痛みや違和感があつたらすぐに整骨院に。太腿を肉離れした時は「どうしても試合に出たい」と先生に泣いて頼んで、テーピングしてもらって出場したこともありました。

先生たちのおかげで、高校の3年間大きなケガをすることなく、強豪校でずっとプレイヤーとして続けることができました。先生たちが私を支えてくれたように、私も人を支えたいと思い治療家を目指すことに。先生の一人が卒業生だったことがきっかけで、ニッケンを選びました。

晴れて合格したものの、新型コロナウイルスの影響で入学式も中止になり、自宅学習に。

4月5月は、学校から郵送されたプリントをやったり、自分で購入した「はじめての解剖学」という本で予習したり…と、気持ちを落ち着かせるために自分にできることをやっていました。

6月になり、ようやく初登校。学校ではソーシャルディスタンスを保って、座学でも実技でも消毒が義務付けられていました。みんなマスクをしているので、最初は話しかけづらかったのですが、実技の授業での会話をきっかけに、徐々にクラスメイトとの距離も縮まってきました。

動画によるリモート学習も、分からないところはリピートできるので、理解を深めることができました。また、登校日の対面授業で質問すると、先生方が親身になって教えてくださいました。そのおかげで座学については、ほとんど取り戻せたと思います。

実技については、今年は中間試験がなく最終試験の1回だけなので、絶対に落とせません。家では母に練習台になってもらい、自主練習を重ねています。

卒業後は、女性に特化した鍼灸院で働きたいと思っています。私は女子高出身なので、多くの友だちが女性特有の病気や不調で悩んでいるのを見てきました。そんな女性たちに寄り添って、身体と心を治し癒すことができる治療家を目指しています。

**2021年
4月
開講!**

PERSONAL TRAINER
COURSE

**パーソナル
トレーナーコース**

**バズーカ岡田氏
カリキュラム監修**

2年間のカリキュラム

1年次 NSCA科目

- 解剖学
- スポーツ栄養学
- スポーツ心理学
- アスリートフード学
- エクササイズ指導
- 運動生理学
- トレーニング論
- トレーニング技術 など

2年次 実践科目

- ボディメイク論
- ヨガ
- ピラティス
- フィットネスマネジメント
- オンラインパーソナル論
- 海外研修 など

資料請求はこちら



**骨格筋評論家
岡田 隆**
(バズーカ岡田)

日本オリンピック委員会強化スタッフ(柔道)
柔道全日本男子チーム体力強化部門長
日本ボディビル&フィットネス連盟ジュニア・マスターズ選手強化委員長
理学療法士/スポーツトレーナー/ボディビルダー

トレーニングは「心と身体を鍛えるもの」をポリシーに、トップアスリートから一般の方まで、さまざまなフィールドでそれぞれに適した身体づくりを提案・指導している。みずからも選手としてボディビル競技に挑みつつ、骨格筋評論家「バズーカ岡田」として多くのメディアに出演。ボディメイクやトレーニングに関する知識や経験を、万人に分かりやすく、かつ心に響かせるような言葉に変換する能力に長け「魂のトレーニング伝道師」とも呼ばれている。

募集要項	【学納金】 ※選考料は 20,000円		
	入学時	入学後	2年次
ライフケア学科 パーソナルトレーナーコース 午前部/定員20名/2年間			
(1) 入学時期: 2021年4月	入 学 金	100,000	
(2) 授業時間: 8:45~11:55	授 業 料	775,000	775,000
(3) 休校日: 日曜日、祝日、創立記念日、春・夏・冬期休暇 (但し、教育上の事由等で変更される場合があります)	実 習 費	125,000	125,000
	施設維持費	75,000	75,000
	合 計	1,075,000	975,000

※授業料には教科書代、副教材費、印刷教材費を含みます。但し、学校の推薦する図書、参考書等については含まれておりません。

※実習着代(約10,000円)・研修旅行費・各種検定試験・資格認定料・学生保険・防災用品が別途必要になります。

※上記納入金以外に寄付金を求めたりすることはありません。

日本健康医療専門学校は 修学支援(学費無償化)の対象校です。

～経済的理由で進学をあきらめないでください～

最大で入学金**16万円**、授業料**59万円**が国から支給されます。
さらに給付型奨学金(返済義務なし)が最大**3万8千円**(自宅通学者/月額)、
7万5千円(自宅外通学者/月額)国から支給されます。
(それぞれ支給には条件があります。)

詳しくは日健事務局または文部科学省HPにアクセスしてください。



文部科学省

(厚生労働大臣指定講座：鍼灸学科)

●専門実践教育訓練給付制度をご利用ください!

雇用保険の一般被保険者等(在職者)または一般被保険者等であった方(離職者)が、当校の鍼灸学科を受講すると**各年次に40万円ずつ合計120万円**が支給されます。

更に鍼灸師となって正職員として雇用された場合**48万円**が追加支給されて、**最大168万円**が支給される給付金制度です。

●卒業生優遇入試のご案内

卒業生を対象とした特別な入試制度です。
新たに資格取得をお考えの方は、ご参考になさってください。

◆募集学科

鍼灸学科(午前部・午後部)
柔道整復学科(昼間部午前・昼間部午後)

◆出願書類

入学志願書、志望動機書、受験票・写真票、
合否通知用封筒、受験票発送用封筒

◆選考料

無料 ※一般30,000円

◆試験科目

面接

◆学納金

3,300,000円(3年間総額) ※一般 4,650,000円
延納・分納のご相談もお受けしております。

教員に興味のある方へ ※教員資格取得を考えている方は遠慮なく学校までご相談ください。

◆柔道整復学科の教員

専科教員認定講習会を受講することが必要となります。

- 受講試験応募の要件……………柔道整復師の免許を取得してから5年以上実務に従事した者
- 受講試験内容……………①筆記試験 ②小論文試験 ③面接試験
- 専科教員免許の取得の流れ……………受講試験合格後、6月～10月の土日祝日に行われる講習会を受講し、修了試験に合格することで得られます。

◆鍼灸学科の教員

鍼灸師免許取得後、教員養成科のある専門学校へ進学し卒業することで得られます。

オープンキャンパス

11月 8日(日)	12月 20日(日)	2月 14日(日)
11月 15日(日)	1月 10日(日)	2月 21日(日)
11月 29日(日)	1月 17日(日)	3月 14日(日)
12月 6日(日)	1月 24日(日)	3月 28日(日)
12月 13日(日)	2月 7日(日)	

入試日程

11月 15日(日)	第5回入試
11月 29日(日)	第6回入試
12月 6日(日)	第7回入試
12月 20日(日)	第8回入試
1月 10日(日)	第9回入試
1月 24日(日)	第10回入試
2月 7日(日)	第11回入試
2月 21日(日)	第12回入試
3月 14日(日)	第13回入試

個別相談会

平日毎日開催中!

好きな日時をご連絡ください。担当者が個別にお話を伺います。
オンライン個別相談会も実施しています。

卒業生紹介のご案内

本校卒業生から入学者をご紹介いただいた際は、**入学生と卒業生に大きな特典**がございます。
資格取得を考えている方が身近にいる場合は、是非一度学校へご連絡ください。
注意) 連絡がない場合は特典が得られない場合がありますので、必ずご連絡をお願い致します!!

●同窓会役員変更のお知らせ

この度、同窓会役員会において役員が下記のとおり選任され就任いたしました。
つきましては、同窓会の発展に精励いたす所存でございますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長／野口智立(3期生) 副会長／佐々木慎司(2期生)

同窓会運営室(日本健康医療専門学校内)

- ①名前、住所変更がありましたら同封の住所調査用紙にて、お知らせください。
知らせていただいた方には謝礼(クオカード1000円分)を差し上げます。
- ②開業したらご連絡ください。
古賀稔彦校長からのお祝いの色紙を贈らせていただきます。

連絡先 同窓会事務局:0120-10-9899 (内線168)

編集後記

2020年はこれまでに経験したことのない年となりました。同窓生の皆様におかれましては、大変なご苦勞があったことと思います。
今回、学校でのリモート授業の様子をご紹介させていただきました。
ニッケンではこれまで通りの対面授業を中心としてリモート授業を併用することで、学修に遅れがないよう対策をして参りました。その中で、多くの学生が日々資格取得に向けて頑張っております。

同窓生の皆様から更なる学生紹介をお願いさせていただければと思います。そして、更に2つ目の資格取得を目指す方々にも様々な制度をご紹介させていただきました。詳しくは同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。
少しでも早く日常が戻り、皆さまが元気にお過ごしいただけることを心よりお祈りいたします。